

# 下水道は、快適な市民生活を支える都市の最も基本的な施設です。

## 下水道の役割①

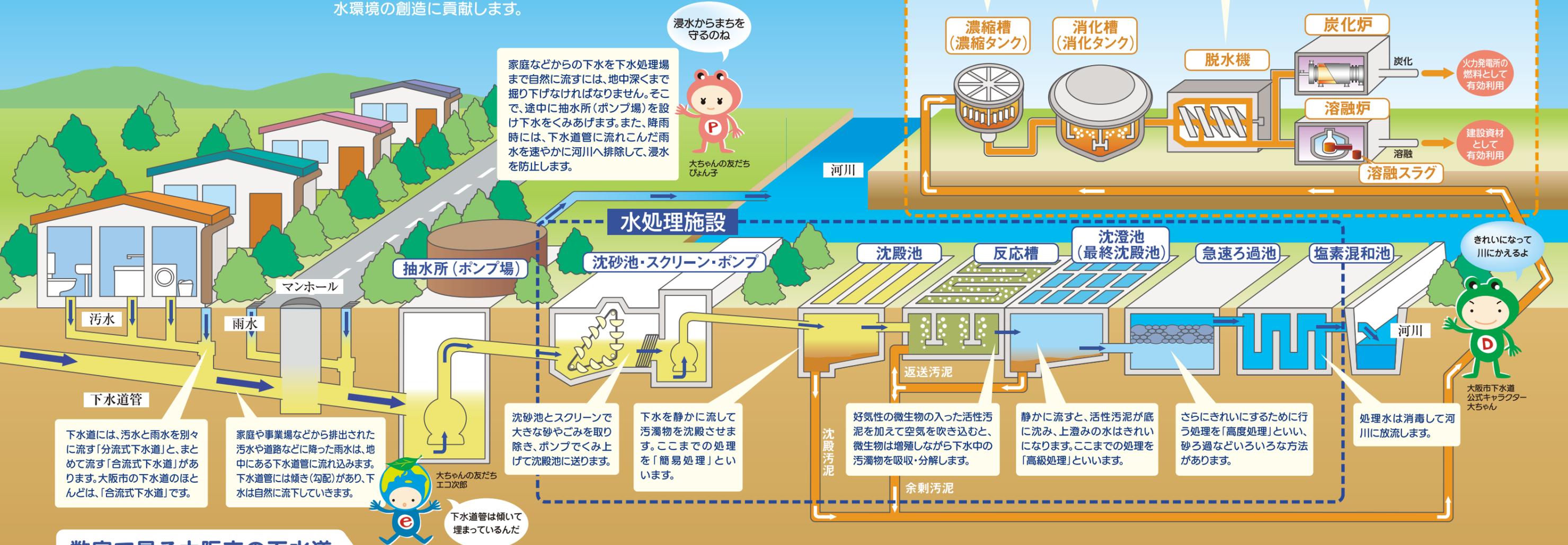
災害に強い都市基盤を整備し、安全で安心なまちづくりを進めます。

## 下水道の役割②

水の都大阪の魅力を引き出す水環境の創造に貢献します。

## 下水道の役割③

循環型・低炭素社会の実現と快適な都市環境の確保に貢献します。



## 数字で見る大阪市の下水道

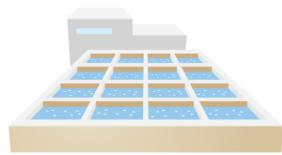
99.9%

処理人口普及率及び水洗トイレの普及率は、99.9%です。



12か所

下水処理場は12か所あります。この他に、下水汚泥を集中処理する舞洲スラッジセンターがあります。



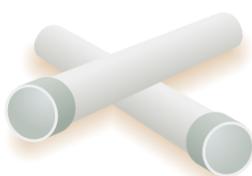
2,844,000m<sup>3</sup>/日

12か所の下水処理場では1日に、2,844,000m<sup>3</sup>の下水を処理することができます。これは大阪市の庁舎をますにして、およそ12杯分です。



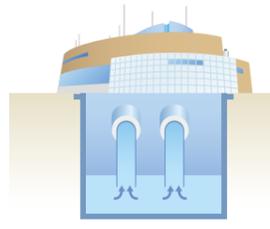
4,974km

市内には、管径20cmから6.5mの下水道管が網の目のようにはりめぐらされており、その総延長は4,974kmもあります。



58か所

抽水所(ポンプ場)は58か所あります。



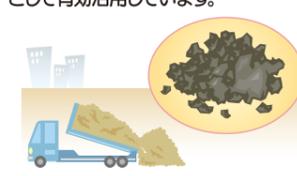
1,360m<sup>3</sup>/秒

抽水所(ポンプ場)と下水処理場のポンプ施設をあわせて、1秒間に約1,360m<sup>3</sup>の水を排水することができます。これはドラム缶およそ6,750本分にあたります。



1,050トン

大阪市では、下水処理などによって発生する下水汚泥を1日に1,050トン処理(溶融または炭化)することができ、建設資材または火力発電所の石炭代替燃料として有効活用しています。



80.1%

大阪市では、概ね10年に1回の大雨(1時間あたり60mm)でも浸水しないことを目標に整備を進めていますが、このような下水道整備ができた区域の比率(雨水対策整備率)は80.1%となっています。

